

奈良県感染症情報

平成 28 年 第 30 週(7 月 26 日～ 7 月 31 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	3.41	(3.09)	➔	➔	➡	↓
2	A群溶連菌咽頭炎	1.91	(1.38)	➔	➔	↗	↑
3	ヘルパンギーナ	1.88	(3.21)	↓	↓	↓	↘
4	流行性耳下腺炎	1.71	(1.71)	➔	➔	➔	➔
5	伝染性紅斑	0.97	(1.06)	➔	➔	↗	↓

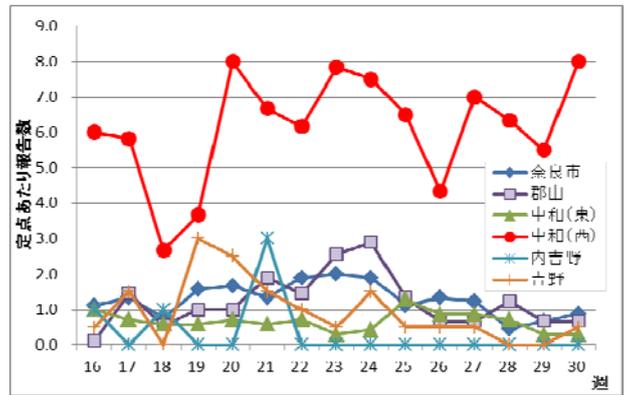
発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➔横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

ヘルパンギーナは、徐々に減少しています。最も流行していた時期に比べると定点あたり患者報告数は半分程度になっていますが、もう少しの間、こまめな手洗いを励行するなど、感染予防対策を続けましょう。

A群溶連菌咽頭炎が、中和保健所西部(旧葛城保健所管内)地域で警報開始基準値の8を超えており、他の地域と比べて高い状態が続いています。予防のためには、患者との濃厚接触をさけることが最も重要で、うがい、手洗いなどの一般的な予防法も有効です。

流行性耳下腺炎、伝染性紅斑(リンゴほっぺ病)は、ほぼ横ばいで、例年に比べると非常に高いレベルで推移しています。



A 群溶連菌咽頭炎報告状況

◆ 小児科外来情報 ◆

北部地区(矢追医院)

夏風邪が中心の外来です。ヘルパンギーナが多く、口蓋の口内炎は小さく、数も少ないようです。手足口病は少なく、口内炎はこちらも小さく目立ちにくく、舌にもみられ、四肢の水疱性発疹も小さく少ない。相変わらず流行性耳下腺炎と伝染性紅斑がよくみられます。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

ヘルパンギーナ、アデノ様咽頭炎の夏風邪が中心であるが、咳嗽の例も多く年長児ではマイコプラズマ様、乳児ではぜろぜろの例もあり、季節外れのRS陽性例もあった。

感染性胃腸炎もあり水様便例もあるがノロ、ロタ陽性例はない。

手足口病は今夏まだない。流行性耳下腺炎の流行が持続。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ヘルパンギーナは減少している。咽頭発赤のみの夏カゼが目立つようになってきた。

胃腸炎からは便アデノ陽性例がよくみられる。遷延する咳嗽、反復する発熱例ではhMPVやマイコプラズマ陽性が多く、入院後の経過は順調に軽快した。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 第 30 週 7 月 25 日 ~ 31 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	5 (0.15)				5 (0.83)			
咽頭結膜熱	4 (0.12)	3 (0.33)			1 (0.17)			
A群溶連菌咽頭炎	65 (1.91)	8 (0.89)	6 (0.67)	2 (0.29)	48 (8.00)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	116 (3.41)	24 (2.67)	27 (3.00)	24 (3.43)	40 (6.67)		1 (0.50)	
水痘	8 (0.24)	1 (0.11)	3 (0.33)		4 (0.67)			
手足口病	11 (0.32)	6 (0.67)	1 (0.11)		4 (0.67)			
伝染性紅斑	33 (0.97)	13 (1.44)	13 (1.44)	6 (0.86)	1 (0.17)			
突発性発しん	22 (0.65)	8 (0.89)	2 (0.22)	5 (0.71)	5 (0.83)		2 (1.00)	
百日咳								
ヘルパンギーナ	64 (1.88)	16 (1.78)	9 (1.00)	21 (3.00)	13 (2.17)	4 (4.00)	1 (0.50)	
流行性耳下腺炎	58 (1.71)	11 (1.22)	17 (1.89)	11 (1.57)	16 (2.67)		3 (1.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)	1 (0.33)	1 (0.33)					
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)	1 (1.00)						
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	5 (0.83)	1 (1.00)			2 (2.00)		2 (2.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核8件(奈良市5、中和3)
3類感染症	
4類感染症	A型肝炎1件(奈良市1)
5類感染症	アメーバ赤痢1件(郡山1) 梅毒3件(郡山1、中和2)

❖ 第 30 週のトピックス ❖

・中南米地域、米国マイアミ市、インドネシア、タイ、フィリピンなどで「ジカウイルス感染症」が流行しています！(厚生労働省:出国編)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000132389.pdf>

妊婦および妊娠の可能性のある方は流行地域への渡航を控えたほうが良いとされています。やむを得ず渡航をする場合は、特に蚊に刺されないように注意してください。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

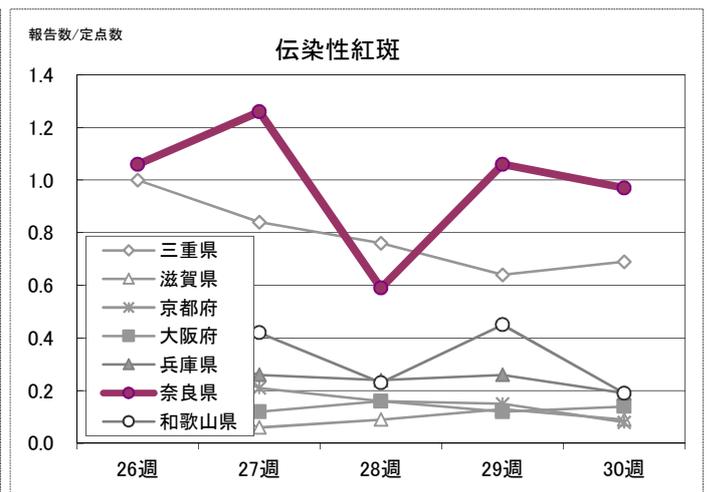
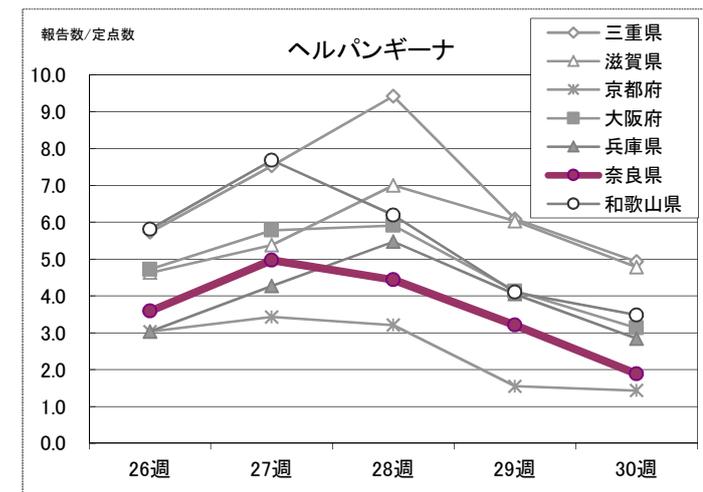
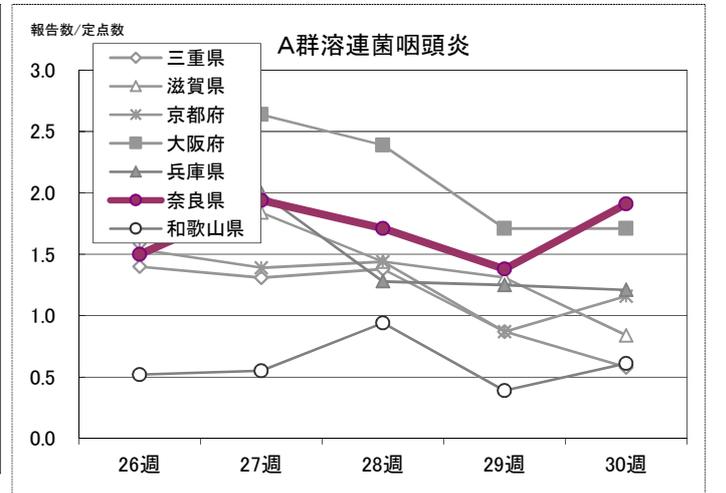
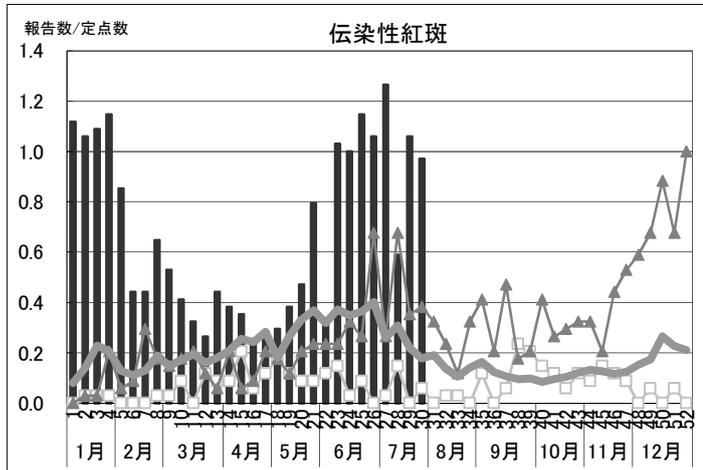
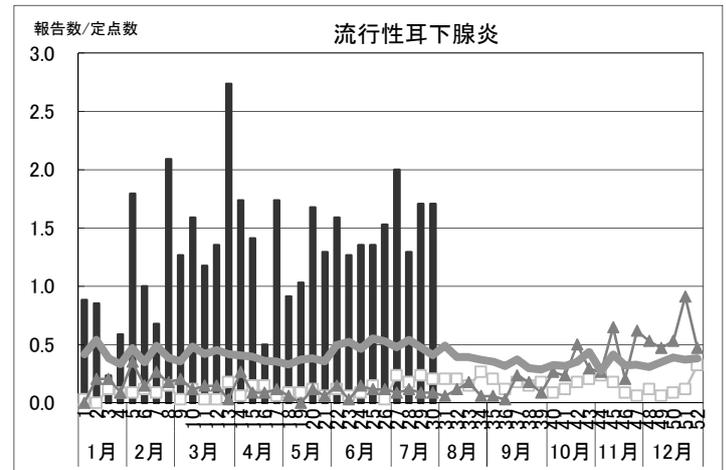
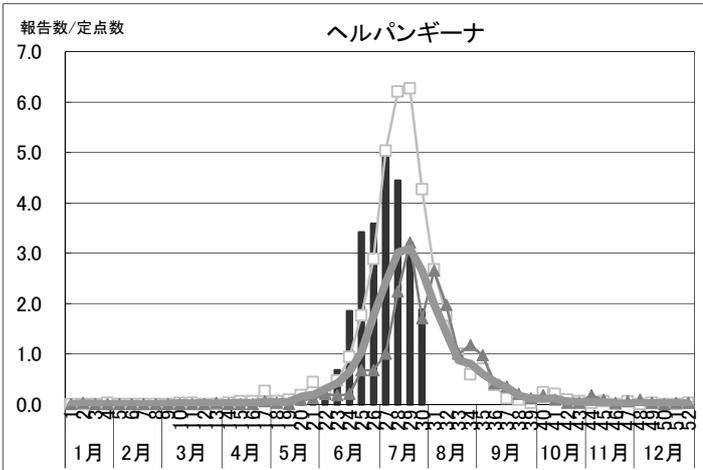
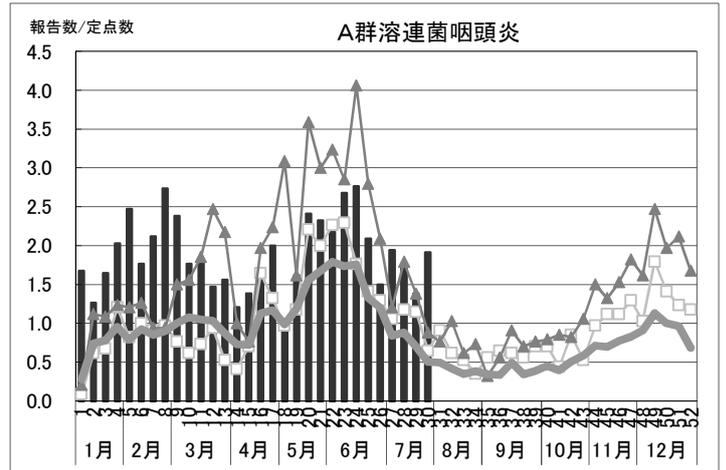
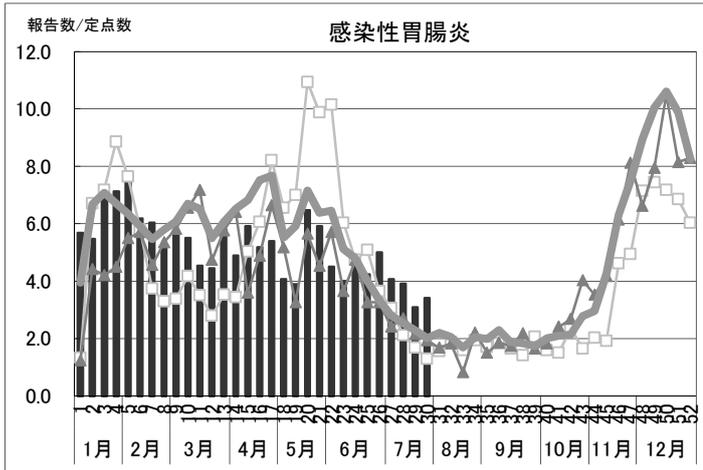
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男																						7742	
	女																							7517
RSウイルス感染症	男			1	1	1	1																5	155
	女																							136
咽頭結膜熱	男													1									1	248
	女																						3	230
A群溶連菌咽頭炎	男				8	3	4	4	6	1	3	2	3	2									36	1050
	女			1	2	6	3	5	3		2	3	1	2		1							29	868
感染性胃腸炎	男	3	5	9	10	4	5	6	5	2	1	3	2		5								60	2803
	女		4	7	10	5	8	5	2	1	1	2	5	4	2								56	2480
水痘	男	1		1	1			1				1											6	176
	女												1										2	134
手足口病	男		1	4	1		1	1															8	43
	女		1				2																3	32
伝染性紅斑	男			1	1	3	3	3	1														12	339
	女				5	3	4	5	3							1							21	354
突発性発しん	男	1	7	3	3																		14	282
	女			7	1																		8	258
百日咳	男																							4
	女																							3
ヘルパンギーナ	男			10	6	4	2	2				1		2									27	452
	女		1	13	7	8	5	2							1								37	393
流行性耳下腺炎	男				4	2	12	2	3	5	2	1	3										34	731
	女				1	3	1	6	1	3	3	3	3										24	640
急性出血性結膜炎	男																							1
	女																							1
流行性角結膜炎	男																						1	38
	女																						1	46
細菌性髄膜炎	男																							4
	女		1																				1	3
無菌性髄膜炎	男																							3
	女																							2
マイコプラズマ肺炎	男		2	2																			4	70
	女			1																			1	67
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																							53
	女																							45

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均



中南米地域、米国マイアミ市、 インドネシア、タイ、フィリピンなどで 「ジカウイルス感染症」 が流行しています！



特に妊婦および妊娠の可能性のある方はご注意ください

妊婦および妊娠の可能性のある方へ



- ・妊娠中にジカウイルスに感染すると、胎児に小頭症などの先天性障害をもたらす可能性があることから、妊婦および妊娠の可能性のある方は流行地域への渡航を控えたほうが良いとされています。やむを得ず渡航をする場合は、特に蚊に刺されないように注意してください。

流行地域に渡航される方へ（渡航中の注意事項）



- ・流行地域では、長袖、長ズボンの着用や、定期的に蚊の忌避剤（虫除けスプレー等）を使用するなどして、蚊に刺されないように注意してください。
- ・性行為感染等のリスクを考慮し、流行地域に滞在中は、症状の有無にかかわらず、性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えてください。

帰国時の注意事項など詳しくは →

検疫所ホームページ FORTH
<http://www.forth.go.jp>

FORTH ジカ



ジカウイルス感染症

【症状】

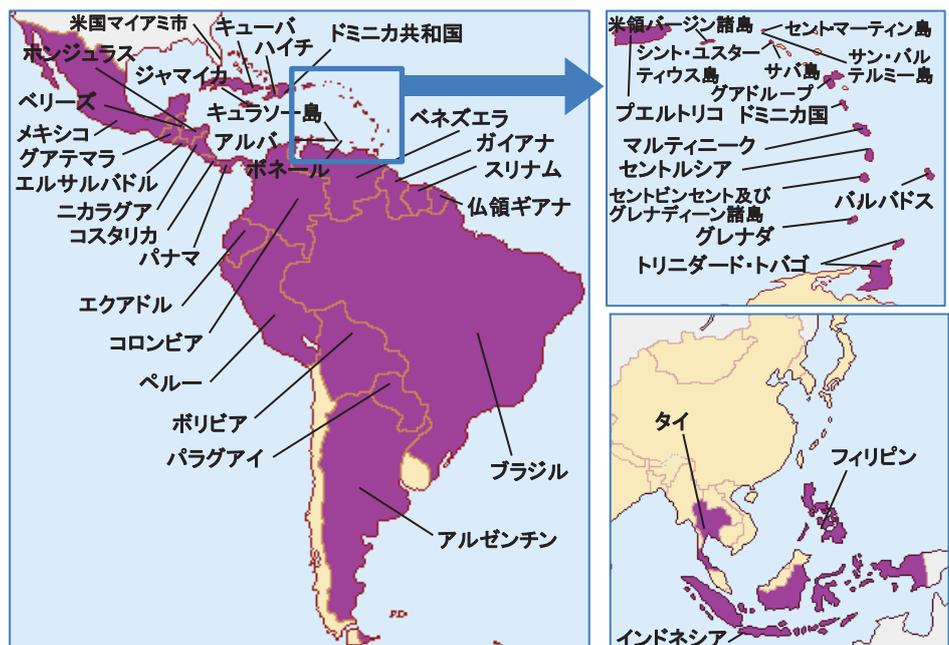
主として軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、筋肉痛、倦怠感、頭痛など

【感染経路】

ジカウイルスを持った蚊がヒトを吸血することで感染します。輸血や性行為によって感染する場合があります。感染しても全員が発症するわけではなく、症状がないか、症状が軽いため気付かないこともあります。

【流行地域】

アフリカ、中南米、アジア太平洋地域で発生がありますが、近年は中南米で流行が拡大しています。また、中南米以外（米領サモア、フィジー、ミクロネシア連邦コスラエ州、マーシャル諸島、ニューカレドニア、パプアニューギニア、サモア、トンガ、カーボベルデ、米国マイアミ市、インドネシア、タイ、フィリピン）でも発生しています。



※平成28年8月2日現在 中南米及びアジアにおける流行地域

厚生労働省 検疫所

「蚊の用心 しているあなたも 日本代表」 夏の蚊対策広報強化月間 標語 優秀作品（大分県 大海 寛輝さん(37歳)）